

TOYBOX

2006.3
vol.16

Hello!Project Fan Magazine

きらりん★レボリューション2006

久住小春に求められたもの

ファンの答え

あなたはモーニング娘。が好きですか？

ハングリー精神

落選組と合格組の違いとは..

ソロデビュー決定！

ミラクルエース久住小春

モーニング娘。は“国民的アイドル”と呼ばれている。それはいつからだろうか？

LOVEマシーン、恋のダンスサイトと連続してミリオンヒットをリリースしたが、それだけでは“国民的”と呼ばれるには足りない。当時、ミリオンヒットはさほど珍しくなく、また曲が売れたから“国民的”になれるほど簡単なものではないからだ。しかし、他のミリオンヒットアーティストや他のアイドルと違い、モーニング娘。は“国民的”という称号を授かった。それは四期メンバーの加入が大きな要因ではないだろうか。

それまでモーニング娘。は一部の男性ファンだけに受けていたグループであったが、LOVEマシーンのヒットが大きな転機となる。CDの売り上げに目が行ってしまいがちだが、売り上げ枚数よりもカラオケチャートで4ヶ月以上連続してトップだったことが大きかったと思われる。1999年の年末はOLさんや世のおじさま世代が忘年会でLOVEマシーンを熱唱する姿が多く見られた。しかしこれだけでは“国民的”にはまだ足りない。国民的アイドル⇨若男女に愛されるグループになるためには、低年齢層にもファン層を広げる必要があった。その役目を果たしたのが四期メンバーの辻加護であった。彼女たちが着ていたナルミヤの服は大ブームとなり、ミニモニ。結成以降は、玩具、筆記具など子供達の生活用品をグッズ化し大成功をおさめ、辻加護（モーニング娘。）に憧れる多くの女の子ファンを生みだし、モーニング娘。のコンサートで多くの家族連れを見ようになった。

また、誰も止めることができない彼女たちの天真爛漫さ、別の言い方をすればはちゃめちゃさが、低年齢層だけでなく幅広い年代に受け入れられることになる。辻加護コンビはモーニング娘。がテレビ番組に出演した際の盛り上げ役、ムードメーカーであった。辻加護の卒業

きらりん★レボリューション 2006

後その役割を誰に担わせるのか、事務所は随分頭を悩ませたことであろう。悩んだあげくその役割を果たせる人材がいないと判断し、そのポジションを空席扱いにしたことが、のちの大きな影響を与えることになる。それは歌番組におけるモーニング娘。の出演時間が短くなったことが最もわかりやすい例。辻加護はキャラクターが際立っていたかという点と決してそうではない。辻加護よりもキャラクターが立っている人は娘。にいる。辻加護の優れていた点は、やや暴走気味に台本を無視する行動で、自分から前へ出て行くことができたこと。それが番組の司会者やディレクターに気に入られ、トークやバラエティに幅をもたせ、番組をおもしろくした。番組制作者にとって辻加護のいるモーニング娘。は扱いやすかつたわけである。

こうして男女年齢を問わず愛されるグループになったモーニング娘。は“国民的アイドル”と呼ばれるようになったのだ。

しかし、その“国民的”をもたらした2人が2004年夏に卒業をする。その半年ほど前にハロプロはBerryz工房を結成しデビューさせていたこともあり、モーニング娘。のファン層を分割(?)させようという動きを見せる。辻加護がいることで良くも悪くも“幼さ”がモーニング娘。のイメージであったが、卒業を機にイメージチェンジをはかり大人っぽさを売りにするようになったのだ。「色っぽい」「色っぽい」「SEXY BOY」そよ風に寄り添って」など、曲のタイトルに「色っぽい」「セクシー」といった大人の女性を意味する言葉を盛り込み強調し始めた。結局加入者0名に終わったが、ラッキー7オーディションは年齢制限が「2005年春に高校生以上」であったことから当時の方針をみてとれる。

この方向でモーニング娘。を売り出していくかに見えた。しかしここである事件が起こる。ミラクル久住小春の加入である。これはUFAの迷走なのか方針転換なのであろうか？12歳の女の子をモーニング娘。に加え辻加護の役割を担わせ、低年齢層のファン獲得に動いた



声優に抜擢されたミラクルエース久住
ソロデビューも決定している

のだ。加入してしばらくは、それまでの路線を継続したことに「久住の加入の意味は？」と疑問に感じたが、ここに来てようやくプロジェクトAがスタートする。それが先日発表された子供向けアニメの主人公役の声優への抜擢である。

4月7日からテレビ東京系で放送開始されるアニメ『きらりん☆レポリユーション』の主人公月島きらりの声優を務めることになったのだ。また声優としてだけでなく、アニメの主題歌を久住のソロで唄い、さらにその楽曲でモーニング娘。史上最年少でのソロデビューが決まった。*モーニング娘。史上最年少でのソロデビュー*と新聞各紙に紹介されたが、*モーニング娘。史上最年少*であることにどれほどの意味や宣伝効果があるのか甚だ疑問であるCDリリースをしてCDが何枚売れたか、オリコン順位が何位だったか、視聴率が高いか低いかといったことを目を奪われてはいけない。重要なのはそこではない。これは辻加護の後継者への第一歩であるからだ。

『きらりん☆レポリユーション』は少女漫画誌「ちゃお」(小学館)にて2004年春から連載されている人気漫画。主人公である月島きらりは14歳。新人アイドルでトップアイドルを目指し日夜奮闘している姿を描いた作品。少女漫画誌「ちゃお」は比較的低年齢層(小学生から中学生)をターゲットにした雑誌で、その発行部数は約100万部。

アニメ化にともない「ちゃお」

に久住の特集がされたらどうだろう？
一回限りの特集ではなく毎号続いたらどうだろう？
久住だけでなくモーニング娘。の特集がされたらどうだろう？

「ちゃお」の読者が久住小春に月島きらりをだぶらせ、「小春(きらり)ちゃんかわいいな」「私も小春(きらり)ちゃんのようにならないな」「モーニング娘。になりたいな」と思ってくれるなら、CDが何枚売れるよりもこの仕事は大成功と言えよう。なんといつたて小学生から中学生をターゲットにした月間100万部の雑誌である。そのプロバガンダの効果は計り知れない。辻加護がミニモニ。等で中学生以下の子供達のスターになったように、久住がこの仕事で子供達のスターになれるチャンスはあるのだ。

辻加護の後継者に育てたい事務所の思惑を強く感じる。久住はまだ歌、ダンスともにエースの働きはできていない。先輩たちとの実力差はまだ大きく本当の意味でエースとしての活躍は随分先であろう。しばらくはモーニング娘。の広告塔としてメディアに対するプロバガンダが彼女に与えられた役割であり求められているもの。過去辻加護がもたらした「国民的アイドル」という称号を、久住が再び作り上げる。それは近い将来歴史が証明するであろう。久住小春には大きな期待がかけられている。

「あなたはモーニング娘。が好きですか？」
そう訊かれたら、私は迷わずこう答えます。
「はい」

それはもちろんモーニング娘。が好きだからです。正確には亀井絵里さんのファンだから。

ここで、皆様に質問をしてみたいと思います。

「あなたは何故モーニング娘。が好きなのか？」

恐らくいろいろな答えがあると思います。

〇〇ちゃんが好きだから？

彼女たちの歌が好きだから？

私は今、この答えを見つけられずにいます。

あなたは答える事ができますか？

カナダに留学中の私は、去年の暮れ頃から亀井絵里さんと安倍なつみさんを応援して行くつもりでブログを始めました。そのブログの中では、いつもの様に「えりりん大好き」とか「なつちキャワ」とかいろいろな事を言っています。ブログを始めた理由も亀井絵里さんが好きだから、安倍なつみさんが好きだからと言った様な理由です。

でも最近ふと思うことがあります。自分は本当に亀井絵里さんや、安倍なつみさんの事が好きなのでしょうか。第一、好きとは何なののでしょうか？

自分の話になってしまいますが、私が中学校だった頃、人生で最後まで思える様な恋をしました。

ファンの答え



written by Blessed by a broken heart

答えは「いいえ」です。理由は分かりませんが、その様な気持ちを持つてないのです。

じゃあ何故ファンをやっているの？と言うことになります。可愛いから？元気をもらえるから？良く分かりません。ただ、人は常に人に憧れて生きている。私はそう思っています。中学での恋の後、私は彼女たちに心の置き場を探していたのかもしれない。

私は今迷っています。このままファンでいいのか。何故自分はモーニング娘。のファンなのかも分からないのに、このままファンでいいのか。

でも、こうも思います。

これから答えを見つければいいのではないかと。問題の答えを簡単に見つけてしまっただけではない。難しい問題を解いたときにこそ、達成感と言うものがあります。

私はこれからもブログを続けていこうと思います。モーニング娘。を応援するために。そして自分の答えを見つけるために。

今一度、皆様に訊きたいと思います。

「あなたは何故モーニング娘。が好きなのか？」

(大袈裟ですが)

何の発展もないまま、その恋は終わってしまいました。ですが、私ははつきり言ってその子を愛していました。(迷惑すぎますね)では、その時の気持ちがあるのでしょうか？私がその子を愛していた様に、私は亀井絵里さんを愛しているのでしょうか？

ハンダグリー精神

written by flight

いきなりですが少し歴史のお勉強。

西暦1600年に関ヶ原の合戦。1603年に江戸幕府が開かれる。翌1604年に三代将軍徳川家光が誕生する。家光が将軍になる際のエピソードでこんな有名なものがある。一つの部屋に全ての大名を集め「世は生まれながらにして将軍である」と言っていた。これは「私は生まれたときには将軍になることが決まっていた。そのことに文句があるやつはこの場で名乗りだよ。」という意味である。家光は生まれながらにしての将軍であるから、苦勞をせずにぬくぬくと育てられたのであるうか。生まれながらにしての将軍であるからこそ経験する苦勞もあるだろう。

置かれてる立場や状況の違いはあるが、人は皆何らかの苦勞や努力をしているのだ。ただ父の秀忠や祖父の家康のように、命をかけた経験や苦勞はしていない。

「モーニング娘。はオーディション落選組で結成された」ことを知らない人はいないであろう。オーディション落選組が全国各地を飛び回り、手売りでCDを五万枚販売しデビューすることになったのだ。…と結成の話はこれぐらいにしておいて、二期以降のモーニング娘。について考えてみる。

実は二期以降の藤本美貴を除くメンバーはオーディション落選組ではなく合格組なのだ。

二期、三期が加入したころはまだ国民的アイドルという冠はなく、芸能界にいくつかあるアイドルグループの一つに過ぎない存在であった。

四期、五期、六期、七期が加入したときにはモーニング娘。はすでに芸能界でトップを走るアイドルグループであった。オーディションに合格したその日からファンが生まれ、インターネット上ではファンサイトが作られ、スポーツ紙の芸能欄に大きな写真付きで報道され、オーディションから2ヶ月しか経っていないのに、握手会を開催すれば数千人のファンが会場を埋める。

徳川家光に類似していないか。四期以降のメンバーはオーディションに合格するやその日からトップアイドルなのだ。だからといって彼女たちが苦勞をしていないと言ってしまうのはない。

苦勞や努力の質が先輩たちと異なっているだけで、彼女たちは必死に頑張っている。先輩に追いつき追い越せと必死に日々のレッスンを積んできた姿を僕は知っている。

しかし、売れないB級アイドルの下積み時代の苦勞は経験していない。うたばん等のバラエティ番組で前へ前へでいく積極性のあった先輩たちと、かしまり大人しくしている現モーニング娘。との差は、その下積み時代の経験の有無、つまりハンダグリー精神の有無ではないだろうか。



2006年3月現在、大相撲の横綱は朝青龍ただ一人。日本人の横綱はいない。大関は魁皇、千代大海、琴欧州、栃東の四人。これに大阪場所の成績で白鵬欧州、白鵬は外国人力士。今、角界はすさまじい国際化の波がやってきている。国技の相撲で日本人は勝てなくなったのだ。

「外国人力士は命をかけて必死に稽古をしている。日本人力士にはハングリー精神がない。」と相撲解説者や部屋の親方が分析しているのをテレビや新聞で見



日本人力士のハングリー精神不足のためか、相撲人気はかなり落ちたようだ。

これは相撲に限った話ではない。ボクシングでも同様の現象が起きている。日本人世界チャンピオンが生まれなくなった。恵まれた環境に生きている日本人からハングリー精神が薄らいでしまった。ここ一番の根性やガッツ、人生や命をかけた必死さがなくなっ

先日放送されたTBSのとくぼんでは同窓会と題して卒業生も出演したが、現モーニング娘。の扱いは酷い有り様だった。

あの放送の収録後、「なぜ私たちは○分だけの出演なんですか!？」「なぜ卒業生たちだけ別収録があるんですか!？」と番組スタッフやマネージャーに詰め寄ったメンバーはいたのであろうか?

イメージではあるが、中澤や飯田、矢口、保田であればそのように詰め寄ったのではないかと思う。そういう姿を想像するのは難しくない。一秒でもテレビに映りたい!というどん欲さ、必死さが欲しい。石橋貴明氏の番組内での「今の10人は味が薄い」といった発言はそこを指していると思われる。

キャラは卒業生に負けないぐらい立っているのに、そのキャラを出すことができていないのだ。

受験にしても仕事にしても、何であっても「成功したい!」という強い気持ちがあれば成功はない。

モーニング娘。は現在もトップアイドルである。だがメンバーにはトップアイドルであるプライドを捨て、挑戦者のつもりで仕事にのぞんでもらいたい。

大人しくかわいいこちゃんに、汚れ役でもいい。もっとどん欲に前へ前へ出て行ってもらいたい。

歌もダンスも過去のモーニング娘。と比較してなら劣っているところはない。むしろダンスレベルなどは上がっている。

先輩達との差は心の問題だ。強い意志を持てば必ずやそこに光は射し込むであろう。





投稿お待ちしております！

記事募集のご案内

現在、TOY BOX では、記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し。どなたでも歓迎いたします。

イキナリですが、次のテーマは・・・

℃-ute について

新メンバーも加入して、勢いに乗っている℃-ute。
3月のスポーツフェスティバルでは、その身体能力の高さを見せつけてくれました。℃-uteはこれからどういう方向へ進むのか。どういうグループになってほしいのか…など何でも結構です。皆さんからの投稿をお待ちしています。もちろん従来通り、ご自分でテーマを設定して下さっても結構です。文字数は1ページで約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数やサイズによって変動しますので、あくまでも目安としてお考えください。

文章はTOY BOX サイト内“mail”ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入してください。都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

編集後記

ハロプロファンの皆様、こんにちは！ やすちんです。

花粉症の季節ですが・・・いかがお過ごしでしょうか？

私はちなみに、花粉症ではありません（笑）

ハローのメンバーで、花粉症のコっているんでしょうか？・・・今、ふと思いました。

藤本さんは、常に鼻声ですが花粉症ではないらしいですよ（笑）

春は出会いと別れの季節。

モーニング娘。の次の卒業は誰なのか！と、巷では色々うわさされていますが・・・

つんくみさんのことだからファンの想像を超えた展開が待っているのでしょうかね（汗）

さて、ムダ話で終わりましたけど。

次回は、4月に発行を予定しています！お楽しみに☆

by Yasuchin

執筆者紹介

1つ目の記事の方...

筆者不明

推し不明

「よしなしごとをそこはかとなく…」を運営

Blessed by

a broken heart

亀井絵里推し

「Blessed by なっち&絵里」を運営

flight

亀井絵里推し

「えりりんどっとこむ」を運営

やすちん

藤本美貴推し

編集・デザイン担当 表紙デザイン担当